

JR室蘭線活性化連絡協議会 令和6年度 事業報告

I 線区の維持・存続に向けた協議・調整等

(1) 協議会、担当者会議等の開催

	区分	開催日	場所	主な内容
協議会	第1回	R6.7.26	書面開催	令和5年度事業・決算報告 令和6年度事業計画・予算 令和6・7年度役員案
担当者 会議	第1回	R6.7.10	安平町	JR室蘭線活性化連絡協議会協議内容(案)
	第2回	R6.11.7	由仁町	室蘭線事業の抜本的な改善方策に向けた実行計画に対する 北海道の対応 室蘭線に関するアンケートの集計結果 令和7年度事業計画・予算(素案)
	第3回	R7.3.14	書面開催	JR室蘭線活性化連絡協議会協議内容(案)

(2) JR 室蘭線アクションプランへの協力

① 室蘭線アクションプラン実行委員会、幹事会等の開催

	区分	開催日	場所	内容
実行委 員会	第1回	R6.8.7	書面開催	室蘭線事業の抜本的な改善方策の実現に向けた実行計画 室蘭線アクションプラン実行委員会規約改正
	第2回	R6.12.19	書面開催	基本指標及び線区特性に応じた目標の位置付けの明確化
	第3回	R7.3末 (予定)	書面開催	令和6年度第3四半期線区別収支とご利用状況(予定) 令和7年度室蘭線調査・実証事業具体的取組み(予定)
幹事会	第1回	R6.4.19	苫小牧市	監督命令及び令和6年度からの支援パッケージ JR 北海道グループ中期経営計画 2026 線区特性、目標設定、利用促進等に関する具体的取組
	第2回	R6.5.29	苫小牧市	線区の特性、基本指標、線区特性目標、具体的取組等 アクションプラン実行委員会規約改正
	第3回	R6.8.5	苫小牧市	線区の特性、基本指標、線区特性目標、具体的取組 室蘭線事業の抜本的な改善方策の実現に向けた実行計画 アクションプラン実行委員会規約改正
	第4回	R7.2.7	苫小牧市	令和6年度第2四半期線区別収支とご利用状況 令和6年度第3四半期までの具体的取組みの進捗状況確認 令和7年度室蘭線調査・実証事業具体的取組み
	第5回	R7.3.24	苫小牧市	令和6年度第3四半期線区別収支とご利用状況 令和7年度室蘭線調査・実証事業具体的取組み

(3) 北海道鉄道活性化協議会事業への参画・協力

- ・「鉄道利用促進に向けた地域との連携事業」を活用し、
オリジナル缶バッジを制作(事業費の1/2を同協議会が負担)
- ・ひとめぐり号お出迎え事業等で活用



2 鉄道をはじめとした公共交通への関心を高める取組み

(1) 各市町の広報誌やSNS、イベントなどを通じた線区への関心の喚起

① Facebook アカウント「室蘭線で出かけよう!」による情報発信(R1.6.25 開設)

・ R6 ~ 投稿数:71 いいね数:1,904

② Instagram アカウント「muroransen」による情報発信(R2.10.14 開設)

・ R6 ~ 投稿数:56 いいね数:2,662

③ 「鉄道フェスティバル in 北海道」への出展

・ 初めて参加する日高線と合同出展し、沿線特産品や鉄道グッズの販売、パネル展示等によるPRを実施

日時：令和6年9月21日(土)

場所：札幌市北3条広場(アカプラ)



④ 北海学園大学の藤田ゼミに関する協力(詳細は資料A)

・ 「室蘭線黄色線区、『存続』か『廃止』か」をテーマにしたプログラムに対する協力(ゼミ生:14名)

<座学>

日時：令和6年5月29日(水) 夕張市石炭博物館

令和6年6月12日(水) 岩見沢市

令和6年6月19日(水) 安平町

場所：北海学園大学

<現地研修>

日時：令和6年9月14日(土)

場所：栗山町 ~ 小林家・小林酒造

安平町 ~ D51ステーション、早来学園



⑤ 「道外禁止!？」パンフレットの作成協力

・ 産炭地域からの石炭輸送を担った鉄道に関する
パンフレットの作成協力及び関連施設への配布
(R6.3作成協力、R6.6発行)



⑥ ひとめぐり号お出迎え

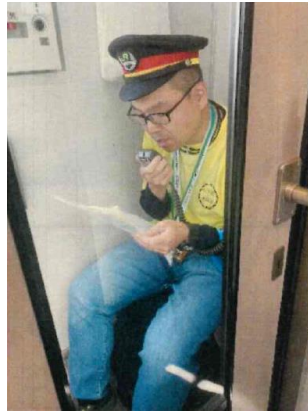
- ・ 室蘭線を運行するひとめぐり号に対して、日高線の沿線自治体と連携しておもてなしを実施

日 時： 令和6年10月14日（祝・月） 9:00～12:00

乗車区間： 白老駅－苫小牧駅（日高線沿線自治体）

追分駅－岩見沢駅（室蘭線沿線自治体）

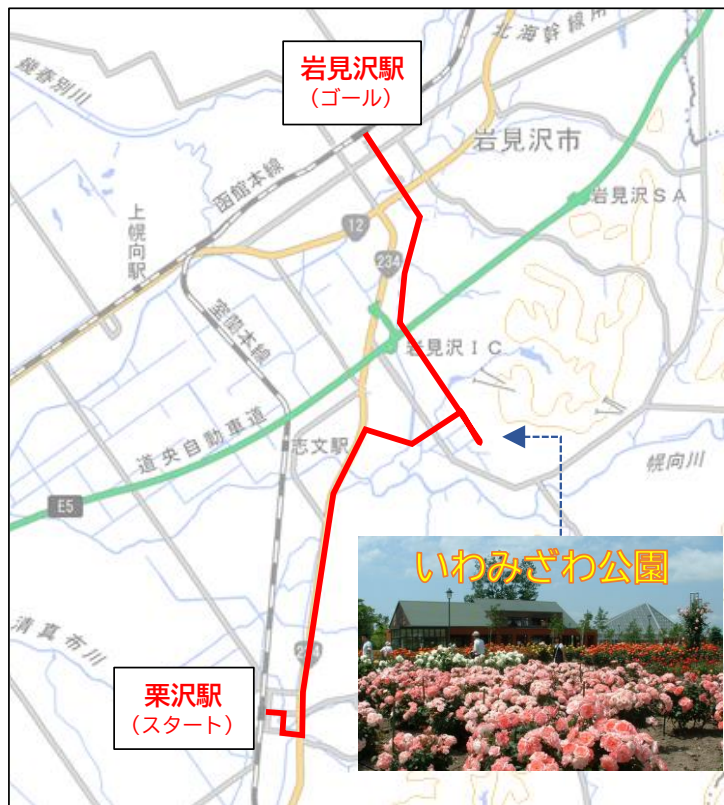
内 容： 車内での缶バッジ等のノベルティ配布、駅ホームでのお見送りや特産品販売等



⑦ JR ヘルシーウォーキングに係る新コース提案

- ・ 室蘭線の利用促進を目的として、栗沢駅発－岩見沢駅着のいつでもウォーク新コース「道内最大級のバラ園を巡る、岩見沢ウォーク」を JR 北海道に対して提案（2025 コースとして採用）

<コースマップ>



※国土地理院地図を加工して作成

(2) 企業・団体・学校等への鉄道利用の啓発

① 小学生に対する列車乗車体験

- ・ 南空知圏域広域連携加速化事業の一環として、岩見沢市や由仁町の小学生や保育園児を対象に列車の乗り方等についての説明や、乗車体験を実施

<由仁町>

実施日：令和6年8月8日(木)

対象者：由仁町学童保育 15名



<岩見沢市>

実施日：令和6年10月23日(水)

対象者：志文保育園 5歳児 15名



3 利便性及びサービスの向上に向けた取組み

(1) 他の公共交通機関等との接続・連携の円滑化の検討

(2) JR北海道のサービス向上取組みへの協力

4 新たな利用者の獲得

(1) 観光等、沿線以外からの利用者獲得に向けたPR

上記、2(1)記載内容と同じ

(2) 沿線イベント等と連動したPR等の強化と、新たな取組みの検討

① 各市町広報誌等でのPR

② JR 室蘭線に関するアンケート調査（詳細は資料B）

- ・利用実態の把握や、新たな取組み等の参考にするため、既存イベントに合わせて室蘭線に関するアンケート調査を実施

実施日及び場所： 令和6年9月15日（日） JR ヘルシーウォーキング岩見沢ウォーク（岩見沢駅前）

令和6年9月21日（土） 鉄道フェスティバル in 北海道（札幌市北3条広場）

アンケート内容： 性別、年齢、住所、室蘭線利用頻度、沿線施設等の認知度等

アンケート回収数： 721件（ヘルシーウォーキング269件、鉄道フェス452件）



（3）観光列車の活用検討

- ・北海道鉄道活性化協議会が、H100形ラッピング車両を活用した室蘭線での観光列車運行を実施

実施日： 令和6年10月17日

経路： 札幌＝千歳駅＝由仁駅＝ゆにガーデン＝小林酒造＝栗山駅＝志文駅＝ノースファームストック
＝宝水ワイナリー＝玉泉館跡地公園＝札幌

<凡例> 〇＝バス ーJR



5 経費節減への協力

（1）経費の削減・圧縮に向けたJR北海道との協議・検討

- ・利用の少ない駅の状況を確認するために、JR北海道が沿線の特定駅に屋外カメラを設置（R7.2.5）

JR室蘭線活性化連絡協議会

令和6年度 決算報告

■収 入

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	増減額	摘 要
負 担 金	250,000	250,000	0	構成市町負担金
補 助 金	212,500	0	▲212,500	北海道鉄道活性化協議会 (上記協議会が直接支出のため、本協議会の収入として計上せず)
繰 越 金	382,558	382,558	0	
諸 収 入	442	11,235	10,793	利子 195 円 スタッフＴシャツ(むかわ町、厚真町) 11,040 円
合 計	845,500	643,793	▲201,707	

■支 出

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	増減額	摘 要
報 償 費	150,000	76,234	▲73,766	オリジナル缶バッジ
消 耗 品 費	100,000	74,202	▲25,798	鉄道フェス消耗品 10,625 円 スタッフＴシャツ 63,577 円
印 刷 製 本 費	150,000	0	▲150,000	
使用料及び賃借料	30,000	33,900	3,900	鉄道フェス出展料 25,000 円 鉄道フェス駐車場代 8,900 円
手 数 料	5,000	1,980	▲3,020	振込手数料
予 備 費	410,500	0	▲410,500	
合 計	845,500	186,316	▲659,184	

収入 643,793 円 - 支出 186,316 円 = 457,477 円を次年度に繰越

令和6年度 会計監査報告書

令和6年度 JR 室蘭線活性化連絡協議会の会計監査に当たり、収入支出に伴う関係書類及び関係帳簿・関係証票等を審査した結果、いずれも正確かつ適正に処理されていることを認めます。

JR 室蘭線活性化連絡協議会

会長 松 野 哲 様

令和7年4月1日

JR 室蘭線活性化連絡協議会 監査

安平町長 及川 秀一郎 印



JR 室蘭線活性化連絡協議会 監査

栗山町長 佐々木 学 印



JR室蘭線活性化連絡協議会

令和7年度 事業計画(案)

1 線区の維持・存続に向けた協議・連携・調整等

- (1) 協議会、担当省会議等の開催
- (2) 室蘭線事業の抜本的な改善方策の実現に向けた実行計画に係る協働
 - ・ 調査事業として、「沿線住民モニター事業」と「通勤定期モニター事業」の実施(資料C、D参照)
- (3) 北海道鉄道活性化協議会事業への参画・協力

2 鉄道をはじめとした公共交通への関心を高める取組み

- (1) 各市町の広報誌やSNS、イベントなどを通じた線区への関心の喚起
 - ・ 鉄道フェスティバル in 北海道の出展
- (2) 企業・団体・学校等への鉄道利用の啓発

3 利便性及びサービスの向上に向けた取組み

- (1) 他の公共交通機関等との接続・連携の円滑化の検討
- (2) JR北海道のサービス向上の取組みへの協力

4 新たな利用者の獲得

- (1) 観光等、沿線以外からの利用者獲得に向けたPR
 - ・ 室蘭線沿線観光利用促進事業の実施
(オリジナル缶バッジ持参者に対する沿線イベントでの特典付与)
 - ・ オリジナルキャラクター活用事業の実施
(沿線外からの誘客促進に向けたオリジナルキャラクター活用事業)
- (2) 沿線イベント等と連動したPR等の強化と、新たな取組みの検討

5 経費節減への協力

- (1) 経費の削減・圧縮に向けた検討

協議事項(2)

JR室蘭線活性化連絡協議会

令和7年度 予算(案)

■収 入

(単位:円)

項 目	令和6年度 予算額	令和7年度 予算額	増減額	摘 要
負 担 金	250,000	1,250,000	1,000,000	構成市町負担金 (250,000 円×5市町)
調査実証事業負担金	0	90,703	90,703	JR 北海道
補 助 金	212,500	4,553,260	4,340,760	国 2,368,840 円 道 1,184,420 円 北海道鉄道活性化協議会 1,000,000 円
繰 越 金	382,558	457,477	74,919	前年度繰越金
諸 収 入	442	560	118	利子等
合 計	845,500	6,352,000	5,506,500	

■支 出

(単位:円)

項 目	令和6年度 予算額	令和7年度 予算額	増減額	摘 要
報 償 費	150,000	400,000	250,000	観光利用促進 400,000 円
消 耗 品 費	100,000	45,000	▲55,000	鉄道フェス 15,000 円 観光利用促進 30,000 円
印 刷 製 本 費	150,000	0	▲150,000	
調査実証事業委託料	0	5,097,480	5,097,480	沿線住民モニター 2,957,500 円 通勤定期モニター 2,139,980 円
使用料及び賃借料	30,000	40,000	10,000	鉄道フェス 35,000 円 会議室等使用料 5,000 円
手 数 料	5,000	410,000	405,000	オリジナルキャラクター 400,000 円 払込手数料等 10,000 円
予 備 費	410,500	359,520	▲50,980	
合 計	845,500	6,352,000	5,506,500	

協議事項(3)

専門委員の設置について

I 提案内容

「沿線住民モニター事業」及び「通勤定期モニター事業」の実施に必要な国や道の補助事業を活用するため、規約第4条第1項第2号に基づき、次のとおり専門委員を当協議会の構成員に加える。

(1) 専門委員

選考区分	団体名
交通事業者	北海道旅客鉄道株式会社

(2) 加入期間

承認日 ～ 令和8年3月31日

<参考> JR 室蘭線活性化連絡協議会規約 抜粋

附 則

(専門委員の任期の特例)

2 第4条第1項第2号の専門委員の任期は、就任した当該年度末までとする。